

岡山理科大学図書館報

りとにゆーす

No.53 2006.4.1

新入生歓迎号

編集・発行 岡山理科大学図書館
〒700-0005 岡山市理大町1-1
<http://www.lib.ous.ac.jp>



● Contents ●

- ☆世界は現在フェーズ3にある p.1
- ☆理大知のトライアングルを知っていますか? p.2
- ☆月曜日 図書館に行ってみよう! p.3
- ☆火曜日 本を探してみよう! p.4
- 水曜日 予約・リクエストをしてみよう!
- ☆木曜日 本を借りてみよう! p.5
- ☆金曜日 視聴覚室を使ってみよう! p.6
- 土・日曜日 自宅で図書館を使ってみよう!
- ☆学科別推薦本コーナー p.7~10
- ☆昨年度の図書館探検2005から p.11
- ☆図書館オリエンテーション2006に参加しよう! p.12

世界は現在フェーズ3にある

総合情報学部長／山本 英二

「世界は現在フェーズ3にある」。これは20世紀おこった3回の新型インフルエンザパンデミックの最後が発生した1968年（香港かぜ）以来のどの時よりも現在世界はインフルエンザパンデミックに近づいているとしたWHOのパンデミック警報である。家禽に新型インフルエンザパンデミックがみられ、ヒトへの感染は見られるが、持続した伝播はヒトとヒトの間にはみられていない段階を指す。2003年以来、鳥フルの大流行が続き、国内でも'04年山口（3.5万羽処分）京都（24万羽処分）'05年茨城（150万羽処分）が発生している。ヒトへの感染は東南アジアで160名を超し、80名を超す死者がでていて、トリ→ヒト感染からヒト→ヒト感染への変異が警戒されている。

第一次世界大戦中の1918年9月に始まった新型インフルエンザパンデミック（「スペインかぜ」と呼ばれる世界的大流行）は、世界人口の25~30%（世界保健機関による）が感染し、2,000万人から4,000万人を殺して12月には終息した。「スペインの貴婦人、コリヤー著、中村訳、清流出版2005」はこのスペイン風邪が世界を席捲した4ヶ月間のドキュメンタリーである。現場の混乱や対応の失敗、成功例が克明に描かれている。

ヒトの移動が大きかった第一次世界大戦中、新型ウイルスは4ヶ月で世界を駆けめぐり、多くのヒトを殺した後、ヒトと折り合いをつけたと見られる。グローバル化した現在は世界同時発生に近い状況が起こるかもしれない。インターネットによる混乱した情報パンデミックも心配される。